

## 消費者の購買意欲向上を 商品の見栄えで獲得へ

お客様工場では大手コンビニ向けの食品アイテムを製造していましたが、食品安全性基準はもとより、消費者の購買意欲向上のために見栄えの品質基準も設けられたことから、この検品に取り組むこととなりました。

### お客様のプロフィール

会社名  
コンビニ商品製造工場様

従業員数  
約150人

業種  
惣菜・パンの食品製造販売

所在地  
国内4工場

食品飲料

工場

### 導入前の課題

- 従業員はパートやアルバイトが多く入替りも多い
- 外国人従業員も多く検品教育が行き届かない
- 人による検品は主観が入り基準が一定にない

### 選んだ理由

- 色を基準に検査設定が簡単に登録できる
- 従業員への検品教育を行わなくてもよい
- デジタル技術による検品は同じ基準が保てる

### 導入の効果

- 見栄えの良質化により当初の目的が達成
- 従業員へ負荷を掛けることが回避できた
- 先進的な取り組みによる業界での地位向上

画像検査装置本体



a サラダ



■ トマト  
■ コーン

トマトの赤色と  
コーンの黄色の  
コントラスト

b パスタ



■ ベーコン  
■ ピーマン

ベーコンと  
ピーマンが  
交互に配置

c サンドイッチ



■ ハム/野菜  
■ タマゴ  
■ ツナ

具材の並びが  
一定

## 商品の見栄えをデジタル化 業界の先進的な取り組みとして注目！

### ■ポイント

- a トマトとコーンの色彩コントラスト比
- b ベーコンとピーマンの位置関係
- c 3種の配列順序やタマゴの黄身の露出度

### ■導入費用・納期

- 装置本体製作費 700万円 ※工事費は除く
- 納期：約3カ月